

授業科目	政治学演習
演習題目	政府と社会・経済の相互関係の検討
担当教員	出水薫
授業の目的	<p>政府と社会や経済との相互関係について政治学的に検討します。具体的には、①政府は政策の形成と実施を介して社会や経済に影響を及ぼします。他方で②社会や経済からは主に選挙を介して政府に反応が戻ってきます。すなわち①政策形成・実施過程と、②選挙過程が循環するかたちで政治過程が展開します。</p> <p>このゼミでは、そのような政治過程の全体を、立体的に学びます。すなわち国次元だけでは、抽象的で実感を伴って学ぶことが難しいので、地域政府＝自治体次元や衆院の選挙区などの次元も対象に加え、具体的かつ実感が伴う形で学びます。そのため学外での聞き取り調査やワークショップなどもおこないます。</p>
履修条件	<p>好奇心と誠実さがあれば、どなたでも構いません。</p> <p>履修条件ではありませんが、「政治学Ⅰ」や「政治学Ⅱ」を履修していると、とっつきやすいかもしれません。</p>
教科書・参考書	<p>このゼミでは、学期の通常講義、調査合宿、同窓会ゼミなどを含め、新書や文庫を中心に例年10冊以上のテキストを読みます。ゼミの進行にあわせ、適宜参加者の皆さんの関心や希望も加味してテキストは選ばれます。</p>
授業の計画・内容	<p>(1) 学期中の講義はテキストの輪読が中心になります。1名の報告者が、テキストの報告をおこない、質疑と論議をおこないます。まず①テキストを「書いてあるとおりに読む」ことに注力し、全員で内容理解の合意を得た上で、②報告者の問題提起や、すでに読んだテキストを踏まえ論議します。また各月の初めのゼミでは、各自が前月に読んだ書籍を紹介する書評会をおこないます。</p> <p>(2) 聞き取り調査を兼ねた合宿を複数回実施します。</p> <p>(3) 弁護士や自治体職員、他大学の教員・学生など学外の方と、ゲストを招いてのワークショップをおこないます。</p> <p>(4) 自治体の催しの実施に協力し、自治体の活動について参与観察をおこないます。</p>
成績評価の方法	<p>ゼミの参加状況と、最終レポートにより総合的に成績評価をおこないます。</p> <p>なお最終レポートは、ゼミ全体のテーマに関連して、各自が自分で設定したテーマにもとづいて作成します。前期から定期的に進捗報告会をおこない、段階的に完成に向けて積み上げられる仕組みになっています。</p>